

◆阿南租税教育推進協議会が実施した平成二十年度小・中学生の「税に関する作文・ポスター」の募集において、美波町立木岐小学校から新矢麻帆さんが(社)徳島県法人会連合会入選、中崎彩香さんが阿南租税教育推進協議会会長賞にそれぞれ選ばれました。

(社)徳島県法人会連合会 入選

必要な税金

美波町立木岐小学校五年

新矢 麻帆

みなさんは、税金がある方がいいですか。それとも、ない方がいいですか。私は、租税教室でお話を聞いてから、税金に対する考えが少しずつ変わりました。

今までは、おやつを買っても消費税がかかるので、何だかお金を余分に払っているように思っていました。しかし、私たちの生活から少しずつ集められた税金は、大きな金額になり、それが私達の生活に役立てられているのです。

まず、私が火曜日と金曜日に外出しているゴミは、税金を使ってしょ理されています。

ました。ゴミは、減らそうとしても無くすことはできません。私の住む美波町では、ゴミが年間二千八百万トンもあり、その費用に一億円もかかるそうです。一日では、二十七万円もかかると聞いて、たくさんのお金が掛かることにびっくりしました。税金でなければ払うことはできません。

次に、道路です。昨年、高規格道路ができて日和佐までまっすぐでトンネルの長い道ができました。今までよりも短い時間で日和佐へ行くことができて本当にうれしいです。この道も税金で作られています。道路には、信号や街灯、歩道橋など私達の命を守ってくれるものもたくさんあります。

全部税金が使われているというのを知りました。税金は、一人一人がかせいだお金の少しを出し合っ、それをみんなが幸せにくらせるようによく考えて使われていると思いました。私が買物ではらった消費税も形を変えて、多くの人が幸せになるように使われていると思うと税金は、とても必要だと思えます。九月一日に二学期が始まり、新しい教科書を先生にいただきました。多くの人の税金からできたものです。大切に使います。

阿南租税教育推進協議会会長賞

幸せをありがとう

美波町立木岐小学校五年

中崎 彩香

わたしは、今まで税金のことなど考えたこともありませんでした。大好きな学校も、お父さんやお母さんが行かせてくれていたと思っていました。

ところが、今日租税教室でお話を聞いて、おどろきました。学校も道路も教科書も全部税金で作られているのですから。ほかにも、税金が使われています。急病人を運ぶ救急車や、火災を消す消防車。事件がおきたときにかけてくれる警察の人。ゴミを集めてくれるゴミ収集車などわたしたちのくらしをよくしてくれるもののほとんどが税金で行われています。租税教室で、もし税金がなかったらどうなるかというビデオを見せてくれました。わたしは、とてもこわくなりました。それは、町中がゴミだらけになっているし、学校や公園がなくなっていました。道路では、交通事故がおきていて、ケガをした人が苦しんでいました。町のあちこちで人がけんかをしていました。子どもたちも行くところがなくて、ほんやりしていました。わたしは、とても悲しくなりました。それは、幸せな人が一人も出てこないのです。税金は、わたしたち子ども

もから大人、高齢者の方まで、みんなが幸せにくらせるようにするために集められていることがわかりました。自分だけ幸せになるのではなく、村の人町の人々、日本人の人が仲よく幸せにくらせるように税金が使われているのです。

わたしは、まだ子どもだから仕事をしていないので、大人のように税金ははらっていません。でも、働いている多くの人の税金のおかげで学校に行かせてもらっていることがわかりました。だから、わたしは、一生けん命勉強して、大人になったら、子どもたちのためにきちんと税金をおさめたいと思います。

